

2017年3月期事業報告書

2016年4月1日から2017年3月31日まで

1. 顕彰事業

(1) 2016年度(第25回)大川賞

- 大川賞審査委員会
- 受賞者

相磯 秀夫

(慶應義塾大学 名誉教授・東京工科大学 理事(前学長))

「計算機システムの研究開発における先駆者として、コンピュータ関連産業の発展に向けた社会的貢献ならびに情報学を基礎とした学際複合領域の開拓及び多くの有為な人材の育成」

ジョン・L・ヘネシー

(スタンフォード大学 名誉学長・ナイト・ヘネシー奨学生プログラム 理事長・電気工学計算機科学科 教授)

「RISC プロセッサをはじめとするコンピュータアーキテクチャに関する先駆的研究、ならびに高等教育における指導者としての卓越した貢献」

(2) 2016年度(第25回)大川出版賞

- 大川出版賞審査委員会(1)
- 大川出版賞審査委員会(2)
- 受賞者

『進化計算と深層学習—創発する知能—』

東京大学 大学院 情報理工学系研究科 教授 伊庭 斉志著・オーム社刊

『インターネット・バイ・デザイン』

—21世紀のスマートな社会・産業インフラの創造へ—

東京大学 大学院 情報理工学系研究科 教授 江崎 浩著・東京大学出版会刊

2. 大川賞・大川出版賞・研究助成贈呈式

2017年3月1日(水)、大川賞・大川出版賞と国内研究助成、中国・韓国研究助成の贈呈式および30周年記念式典をあわせて行った。なお、これを記念しての講演会を同時開催した。

日時： 2017年3月1日(水)14:00~18:30

- 14:00 30周年記念映像上映
記念講演「脳と生命と心」東京大学 名誉教授 養老 孟司博士
ハープ演奏 摩寿意 英子氏
- 15:45 大川賞・大川出版賞・研究助成贈呈式
- 17:40 祝賀会

場所： ANA インターコンチネンタルホテル東京 東京都港区赤坂 1-12-33

3. 2016年度大川賞受賞記念シンポジウムの開催

下記の通り、大川賞受賞者による「2016年度大川賞受賞記念シンポジウム」を開催した。

日時： 2017年3月2日(木) 10:00~14:00

場所： 慶應義塾大学 日吉キャンパス 藤原洋記念ホール

主催： 慶應義塾大学

公益財団法人 大川情報通信基金

協賛： 一般社団法人 情報処理学会

一般社団法人 電子情報通信学会

内容：

第一部 大川賞受賞記念講演

ジョン・L・ヘネシー

「The End of Road for General Purpose Processors and the Future of Computing」

相磯 秀夫

「コンピュータサイエンス関連分野における研究・教育の体験

～コンピュータアーキテクチャの研究から大学改革まで～」

第二部 パネルディスカッション 「コンピューティングの進化と研究大学の役割」

パネリスト：相磯 秀夫

ジョン・L・ヘネシー

モデレーター：徳田 英幸

4. 研究助成事業

- 研究助成審査委員会(1)
- 研究助成審査委員会(2)
- 研究助成審査委員会(3)

米国研究助成贈呈式

日時：2016年9月22日(木)18:30～22:00

場所：グランドハイアット サンフランシスコ

中国・韓国研究助成歓迎レセプション

日時：2016年9月22日(木)18:30～22:00

場所：ANA インターコンチネンタルホテル東京

国内・中韓研究助成贈呈式（前記のとおり）

日時：2016年9月22日(木)18:30～22:00

場所：グランドハイアット サンフランシスコ

その他の協賛活動等

「2017年度情報通信月間に対する協賛」

2016 年度国内研究助成対象者

助成金:1 件あたり 100 万円

No.	氏名	所属	部署	役職	研究テーマ	分野
1	佐藤 茂雄	東北大学	電気通信研究所	教授	脳型量子計算機の学習アルゴリズム	基礎
2	庄司 観	東京農工大学	大学院 工学研究院	日本学術振興会特別研究員	昆虫を用いた自己発電・自律分散型センサネットワークの創製	通信
3	新熊 亮一	京都大学	大学院 情報学研究科	准教授	データ価値に基づいたトラフィック制御を行う通信ネットワークアーキテクチャ	通信
4	横田 信英	東北大学	電気通信研究所	助教	Raised-cosine 型光周波数コム発生技術を用いた集積型多波長ナイキストパルス光源の研究	通信
5	小林 亮太	国立情報学研究所	情報学プリンシプル研究系	助教	ソーシャルメディアにおける情報伝播を予測する技術の開発	コンピュータシステム
6	笹原 和俊	名古屋大学	大学院 情報科学研究科	助教	エコーチェンバーの生成と情報流のダイナミクス：数理モデルとビッグデータ分析	人工知能
7	全 昌勤	神戸大学	大学院 システム情報学研究科	准教授	ユーザ満足度を評価するための感情情報処理	人工知能
8	東藤 大樹	九州大学	大学院 システム情報科学研究院	助教	最適性を保証する制約付き両方向マッチングのメカニズム設計	人工知能
9	佐藤 哲也	九州大学	生体防御医学研究所	助教	染色体高次構造情報を用いた疾患原因遺伝子予測システムの構築	バイオ
10	堀 豊	慶應義塾大学	理工学部	助教	細胞間生体分子通信による細胞集団の協調フィードバック制御の研究	バイオ
11	小池 進介	東京大学	大学院 総合文化研究科	准教授	バーチャルリアリティー技術を用いた自覚的うつ症状の修飾	応用 (A)
12	境野 翔	埼玉大学	大学院 理工学研究科	助教	触覚 VR のための機能的電気刺激を用いたラバーハンドイリュージョン	応用 (A)
13	坂本 慎一	東京大学	生産技術研究所	准教授	高精度境界条件測定に基づく 3 次元音響空間モデリング技術の開発	応用 (A)

14	鄭 銀強	国立情報学研究所	コンテンツ科学研究系	助教	バイスペクトル光吸収に基づく水中シーンの三次元復元	応用(A)
15	藤川 真樹	工学院大学	情報学部	准教授	情報ハイディング機能を備えたマルチモーダル型人工物メトリクスの研究	応用(A)
16	岡本 学	神奈川工科大学	情報学部	准教授	肢体不自由者向けのパスワード入力方式の研究	応用(B)
17	里元 麻衣子	名古屋大学	大学院 医学系研究科	病院講師	術後せん妄予測可能な術前術中モニタリングの開発	応用(B)
18	瀧山 健	東京農工大学	大学院 工学研究院	特任准教授	無意識下の運動学習能力に基づく脳卒中予後予測システム(POST)の開発	応用(B)
19	舘野 高	北海道大学	大学院 情報科学研究科	教授	スパースな音受容野推定に基づく人工聴覚器の音マッピング幼児支援法の開発	応用(B)
20	古川 徹生	九州工業大学	大学院 生命体工学研究科	教授	メンバーの多様性に基づくグループ間比較を可能にするマルチグループ解析法	応用(B)
21	三宅 文雄	早稲田大学	大学院 情報生産システム研究科	准教授	ソフトコンタクトレンズ上に印刷される無線バイオセンシング素子の開発	応用(B)
22	岡田 謙介	専修大学	人間科学部	准教授	オンライン調査における反応時間と反応スタイルの統計モデリング	人文社会
23	奥泉 香	日本体育大学	児童スポーツ教育学部	教授	複合的なメディア使用により創成される若者スポーツ観戦の様態と特質—パブリックビューイングを核として—	人文社会
24	宮下 紘	中央大学	総合政策学部	准教授	インターネット上の忘れられる権利に関する比較法的考察	人文社会
25	森本 幸子	仙台白百合女子大学	人間学部	准教授	インターネット上での攻撃性表出の要因分析	人文社会
26	若尾 政希	一橋大学	大学院 社会学研究科	教授	日本近世におけるメディアと社会変容—『東照宮御遺訓』を中心に—	人文社会

2016 年度米国研究助成対象者

助成金:1 件あたり 1 万ドル

No.	大 学	部 署	役 職	氏 名	テ ー マ
16-1	University of California, Berkeley UC バークレイ	Department of Electrical Engineering and Computer Sciences	Assistant Professor	Sanjam Garg	Software Obfuscation
16-2			Assistant Professor	Nir Yosef	Methods for Annotating the Regulatory Genome of Mammalian Cells
16-3	Stanford University スタンフォード大学	Computer Science Department	Assistant Professor	Christopher M. Ré	Light Weight Information Extraction Using Data Programming
16-4		Department of Electrical Engineering	Assistant Professor	Gordon Wetzstein	Near-Eye Light Field Displays: Computational Optics for Increased Realism and Visual Comfort in Emerging Virtual Reality Systems
16-5	University of California, Los Angeles UCLA	Electrical Engineering Department	Professor	Christina Fragouli	Wireless Network Secrecy
16-6		Computer Science Department	Professor	Todd Millstein	Toward Programmable and Verifiable Software-Defined Networks
16-7	University of Southern California 南カリフォルニア大学	Department of Computer Science	Assistant Professor	Nora Ayanian	Learning New Multirobot Coordination Policies from Multiplayer Games
16-8	California Institute of Technology カリフォルニア工科大学	Division of Biology and Biological Engineering	Assistant Professor	Elizabeth Hong	Synaptic Origins of Sensory Learning and Information Storage
16-9	Carnegie Mellon University カーネギーメロン大学	Computational Biology Department	Assistant Professor	Andreas Robert Pfenning	Interpreting Alzheimer's-Associated Genetic Variation Using Genomic Analysis

2016 年度中国・韓国研究助成対象者 助成金:1 件あたり 100 万円

No.	大学	部署	役職	氏名	テーマ
16-1	Peking University 北京大学	School of Electronics Engineering and Computer Science	Associate Professor	Xu Sun 孙栩	Dependency-based Deep Neural Networks for Natural Language Processing
16-2	Tsinghua University 清华大学	Department of Computer Science and Technology	Associate Professor	Yongjin Liu 刘永进	Structure Analysis in Intelligent Processing of Big Visual Media Data
16-3	Fudan University 复旦大学	School of Information Science and Technology	Associate Professor	Xiaolin Zhou 周小林	Development of High-Capacity Wireless Network-Coding Non-Orthogonal Iterative Multi-User Cooperation Communication Systems
16-4	Shanghai Jiao Tong University 上海交通大学	School of Electronic Information and Electrical Engineering	Associate Professor	Lin-Sheng Wu 吴林晟	Investigation on MEMS Filters for 5G Application
16-5	Seoul National University ソウル国立大学	Department of Electrical and Computer Engineering	Professor	Hyuk Jae Lee 李赫宰	A New Memory System Architecture for Artificial Neural Networks
16-6	Korea University 高麗大学	Department of Computer Science and Engineering	Professor	Seongbin Park 朴成斌	A Linked Data Platform for Non-Expert Users
16-7	Yonsei University 延世大学	Department of Computer Science	Assistant Professor	Hyung-Chan An 安瑩燦	Beyond Stylized Problems: Theory for the Practice of Approximation Algorithms

5. 広報活動

- (1) 研究助成の成果概要の公開について
- (2) 年次報告書の発行
- (3) ホームページの充実
- (4) テレビ・新聞・雑誌等へのパブリシティの強化

6. 庶務に関する事項

- (1) 理事会の開催……年 4 回開催（書面決議を含む）
- (2) 評議員会の開催
- (3) 役員・評議員・委員の改選
- (4) 内閣府による立入検査

正味財産増減計算書（概要）

2017年4月1日から2018年3月31日まで

（単位：千円）

科目	2017年3月期
I 一般正味財産増減の部	
1. 経常増減の部	
(1) 経常収益	
①基本財産運用益	20,130
②雑収益	59
経常収益計	20,189
(2) 経常費用	
①事業費	135,177
②管理費	31,818
経常費用計	166,994
当期経常増減額	△ 146,805
2. 経常外増減の部	
(1) 経常外収益	
①特定資産受贈益	339,539
②固定資産売却益	26,914
経常外収益計	366,453
当期経常外増減額	366,453
当期一般正味財産増減額	219,648
一般正味財産期首残高	314,800
一般正味財産期末残高	534,448
II 指定正味財産増減の部	
①一般正味財産への振替額	△ 339,539
当期指定正味財産増減額	△ 339,539
指定正味財産期首残高	4,839,539
指定正味財産期末残高	4,500,000
III 正味財産期末残高	5,034,448